

表彰式・表彰パーティー



表 彰 式



表彰パーティー・乾杯挨拶
前田 (独)中小企業基盤整備機構理事長



「賞贈呈」小松 (株)小松精機工作所社長



表彰パーティー

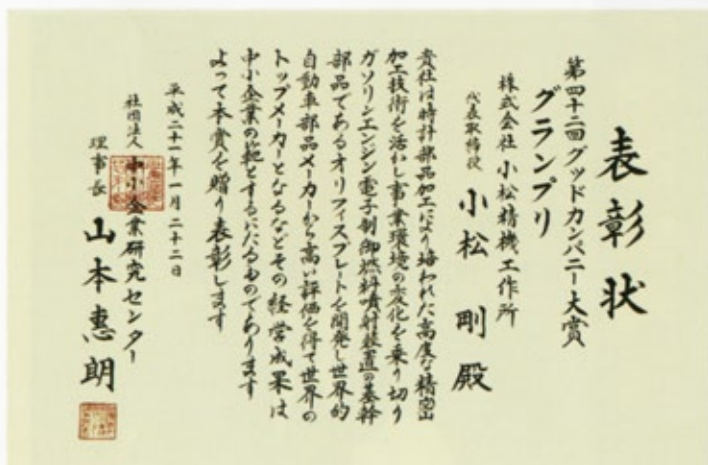


表 彰 状



純銀メダル



グランプリ

株式会社 小松精機工作所

代表者 小松 剛

- 〈所在地〉 長野県諏訪市大字四賀桑原942-2
- 〈事業〉 自動車部品を中心とした精密プレス部品・切削部品の製造
- 〈設立〉 昭和28年6月
- 〈資本金〉 9,750万円
- 〈年商〉 58億円（平成20/3期）
- 〈従業員〉 226名

当社は(株)諏訪精工舎（現セイコーエプソン(株)）の専門協力工場として時計部品組立作業からスタートし、機械加工、表面処理加工、プレス加工、金型製作と事業分野を拡大、一貫生産を行うようになった。そこで培った精密加工技術を基礎に時代の流れに合わせて、事業領域を昭和55年電子機器部品、さらに平成以降自動車部品へと変化させ見事に成功してきており、現在自動車部品関係が事業の94%を占めている。

当社の主要製品であるガソリンエンジンの電子制御燃料噴射装置のオリフィスプレートはエンジンの性能を左右する基幹部品であり、世界シェアのトップクラスを占めている。(株)デンソーと共同特許をも取得しており、BOSCH、DELRHIといった世界的大手自動車部品メーカーからも技術面、生産・検査体制面において高い評価を受けている。

このように高度な精密加工技術と一貫生産体制を強みとして事業環境の変化を乗り越えてきたことが、顧客の高い評価と当社の経営基盤充実につながっている。

自動車業界の環境問題対応においてエタノール燃料にも対応できるオリフィスプレートは中長期的にも需要は底堅く、さらに医療分野での新規事業にも取り組んでおり、さらなる発展が期待される。